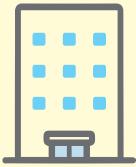


教えて!

特集

知っているようで知らない 市役所の 仕事



市役所の仕事、あなたはいくつ知っていますか？現在、課の総数は約90。それぞれの分野で、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めています。今回は、そんな「知っているようで知らない」市役所の仕事に迫ります。

問合先 人事課 ☎072-620-1601

変わる市役所の仕事、
広がるつながり

本市では、現在約4000人（会計年度任用職員※などを含む）の職員が働いています。

市役所の業務の基本は、安定した行政サービスを持続的に提供し、「市民の安全・安心な暮らし」を守ることです。さらに近年は、地域で多様な人々が出

会い、集い、活動を生み出すことで、誰もが安全・安心、そして豊かさや幸せを実感できる「共創のまちづくり」を進めています。そうした、共創のまちづくりを進める上でも、本市は職員がいきいきと活躍できる環境づくりに力を入れています。

※会計年度任用職員…1会計年度（4月～翌3月）を任期とする職員



「市役所って、どれくらいの人がどのように働いているの？」。そんな皆さんの疑問をまずは数字でひもときます。職員数・年齢構成・働き方の特徴——リアルな市職員の姿をデータでチェック！

(データは2025年4月時点のものです)

正規職員数

2,000人



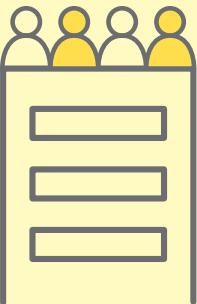
会計年度任用職員を含めると、約4,000人が活躍しています。

新規卒業者の割合

直近
5年間

50%

※事務・技術系職員



採用者のうち新規卒業者と社会人経験者等の割合は、およそ半々となっています。多様な視点やキャリアを持つ人材が働いており、組織の多様性が一層高まっています。

残業時間

平均15.8時間/月



(令和6年度)

時期や部署によってバラつきはあるものの、
DXの推進等により、業務の効率化、質の向上に努めています。

「人材育成・確保基本方針」
を掲げ、働く環境の整備などに取り組んでいます

人事課
そだ
祖田



数字でひもとく 市職員の リアル

51% 専門職の割合



専門職は建築・土木などの技術職をはじめ、保育士、保健師、栄養士など**21職種**にわたります。専門性を生かし、行政サービスを提供しています。

育児休業取得率

85%

男女
合わせて

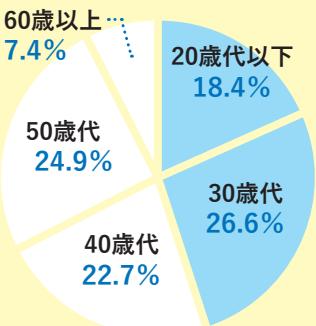


男性:74%
女性:100%



男性の取得率は5年前の4.2%から大幅に増加。休業中は代わりとなる職員を配置するなど、職場のサポートも行っています。

年齢構成



さまざまな年代の職員が偏りなく在職し、活躍しています。中でも**若手職員が約半数を占め**、組織に活力を与える存在になっています。

今日も現場へ

現場主義を
大切に市民に
寄り添う



事務、建築、土木——それぞれの専門性を生かし、働く職員の仕事内容と1日のスケジュールを紹介します。

子育て支援課

グループ長
浅野(事務職)

入庁年:2011年



妊娠期から出産、乳幼児の健診・予防接種までをサポートし、関連する新規事業の立ち上げを行っています。管理職として業務を客観視し、よりよい仕事のために、ルーティンワークであっても改善の余地がないか検討を重ねています。効率化が進む今だからこそ、「現地に足を運び、現物を見て、生の声を聞く」とことを大切に、「チームの知恵と力」で挑んでいます。

生活福祉課

中島(事務職)
入庁年:2021年



“個”に応じた
サポートで
暮らしに安心を



ある日のスケジュール



ケースワーカーとして生活困窮者の相談に乗り、家庭訪問や関係機関との連携を通じて、日々の暮らしを多角的に支えています。経済面だけでなく、医療や就労など幅広い支援を調整し、安心して暮らせる土台を築きます。丁寧な対応と分かりやすい言葉で説明することを常に心がけ、少しでも生活の改善が見られるなど支援が形になつたときにやりがいを感じます。

2026.2
広報いばらき

あなたの暮らしのために

心がけ、期待以上の成果をめざして業務に取り組んでいます。

道路工事の設計・発注業務を通じて、市民の安全を守る役割を担っています。計画から完成まで一貫して携わることが多く、事業が形になると大きな達成感があります。工事后に「ありがとう、歩きやすくなつたよ」と市民の方から声をかけていた



道路課
宇津木(土木職)
入庁年:2024年



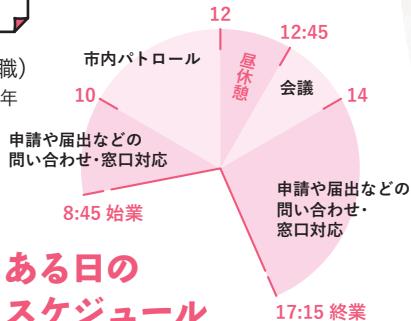
市民の暮らしを支える安全な道路づくり



建設調整課

渡利(建築職)
入庁年:2016年

ある日のスケジュール



建築物の安全を守り、市民の命をつなぐ

地震などの災害時、建物が「命を守る場所」であるために、建築基準法に基づき違反建築物の指導や取り締まりを行っています。成果が見えにくい仕事ですが、建物の安全確保こそが市民の皆さん安心を支える最重要課題であります。チーム内の密な連携を大切に、資格取得など自己研さんにも励み、安全なまちづくりの一端を担っていると自負しています。

市職員のホンネ

語っちゃいます



中島

渡利

市職員を選んだ理由は？や
りがいってどんなところ？――

浅野

市役所で働く4人が、仕事の魅
力や本音を語り合いました。

宇津木

Q1 茨木市の職員を志した きっかけは？

渡利

私は新卒で技術職として採用されました。
長く働ける仕事に就きたいという思いと、建築が好き
だったことが志望のきっかけです。

宇津木

私は他市在住ですが、緑豊かなまち並みや
ブランドメッセージの「次なる茨木へ。」に込められた

挑戦し続ける姿勢に惹かされました。また、自身の名前
の一部が入っていたことにも縁を感じました。前職は

他の自治体で技術職として働いていましたが、茨木市
民の「安全安心」を守る業務に携わりたいと強く思う
ようになりました。

浅野

前職で東京に勤務していた時、偶然飲食店で
見ていたテレビに故郷・茨木市のニュースが映り、そ
の景色に心が動かされました。転勤続きの生活の中で、
「やっぱり地元で働きたい」という思いが一気に強ま
り、翌日には、採用情報を見つけて応募を決めていま
した。

中島

まちの発展と
一緒に自分も
成長したい



中島 まさに運命の出会い(笑)。私も一般企業からの
転職です。実家は他市なのですが、茨木市を選んだのは
ダムパークいばきた、おにくるのオープンに向けた準備
で、まちがどんどん活気づいていたから。まちの発展
と一緒に自分も成長したいと思つて志望しました。

Q3 印象に残っている仕事は？

宇津木

市民にとって
必要なサービスを
提供するのが
使命



入庁1年目に担当した工事で、市民の方に概
要を説明する際、電話だけではどうしても理解いただ
くことが難しくて…。そこで、直接自宅に伺って丁寧
に対話を重ねる中で、最後は「理解をいただくことが
できました。相手の立場に立つて話を聞き、自分の考
えを丁寧に伝える――その積み重ねが信頼につながる
んだと、身を持って学びました。

Q2 前職との違いは？

中島

前職では、目標達成が常に最優先でした。でも、現在の仕事は一人ひとりの状況に寄り添った対応が
重要で、正解が一つでない場面も多いんです。難しさは
ありますけど、その分、大きなやりがいを感じています。

浅野

確かに、民間企業では利益が大切ですが、市
職員は市民にとって本当に必要なサービスを提供す
るのが使命。限られた財源で、市民の幸福に貢献でき
ることこそが、何よりのやりがいだと思います。

渡利 まちの景色が変わっていき、市外からの注
目が高まる瞬間に立ち会えるのは本当に刺激的です
よね。

渡利

直接市民の方と向き合うことは大切です。

ね。窓口業務の際に感じたのが、公平に接することの大切さ。市役所に来る人の多くは、何らかの不安や困りごとを抱えています。法律や条例という枠組みの中で、先輩が冷静に根拠を示しながら丁寧に説明する姿を見て、市職員は「全体の奉仕者」なんだと実感しました。

Q4 今後の目標を教えてください。

やるべきことがくっきり見えてきたんです。他部署との連携もスムーズになって、その大きさをすごく実感しました。

宇津木

私も現場は大事だと思います。茨木市って、実はけっこう広いんですね。北部と南部で雰囲気もまたたく間に違うし。いろんな現場を経験して、地域の違いも吸収していくたいですね。

渡利

全体の奉仕者として、公平さを大切にしたい



市役所の仕事、実はこんなに幅広い！

健康・福祉



医療・福祉サービスの提供、相談体制の整備等

子育て・教育



出産・育児の支援、学校・教育環境の整備等

文化・市民活動



スポーツ・芸術等の推進、イベント開催、市民活動の促進等

安全・安心



消防、救急、災害対応、防災対策等

産業・都市



中心市街地の再整備、ダムパークいばきたを中心とした北部地域の活性化、事業者支援等

環境



道路、水道等のインフラ整備、ごみの収集・減量、再資源化の推進等

採用情報

来年度の採用試験情報は、5月下旬に市HPに掲載する予定です。採用に関する情報は右図から。



行財政運営



予算の管理、税金の徵収、広報活動等

令和8年度会計年度任用職員の募集は
14ページに掲載しています。

渡利

学生の頃から建築に興味があつて、今こうして建築分野で働けてること自体がすごくうれしい。定年まで建築の仕事にずっと関わっていきたいなど、「建築愛」で勤め上げたいです。

中島

仕事は前向きに取り組んだ方が、人生も楽しくなると思うので、楽しく働き続けることをずっと目標にしています。また、後輩も増えてきたので周りのみんなも前向きにさせられるような職員をめざしたいです。

浅野

今後も現地で現物を見る姿勢を大切にしたいです。大阪北部地震のとき、保育所・保育園の修繕工事を担当したのですが、何度も現場に通ったことで

宇津木

現場を回り、市の多様な魅力を吸収したい

